

コロナ禍での大学新入生の精神健康状態調査 — 春学期と秋学期での比較 —

はた 秦 こう きち 幸 吉^{1,2)} ふく しま かなみ 福 島 加菜美²⁾
ふじ 藤 た 田 さ や か 小 矢 香¹⁾

キーワード：コロナ禍，精神健康状態，大学新入生，春学期，秋学期

要 旨

【目的】 コロナ禍における大学新入学生の精神健康状態が春学期と秋学期では如何に変化したかを検討することを目的とした。

【対象と方法】 2020年度島根県立大学看護栄養学部1年次生128名（看護学科86名，健康栄養学科42名）を対象とした。質問紙法日本版 GHQ（General Health Questionnaire，日本版著者：中川泰彬・大坊郁夫，日本文化学社）60項目を用いて精神健康調査を春学期（4月20日），秋学期（10月5日）に行い，春学期と秋学期での GHQ 結果を比較した。

【結果】

- 1) GHQ 合計得点が17点以上を示した割合は秋学期では低下した ($P=0.094$, borderline)。
- 2) 身体的症状は軽度以上，中等度を示した割合は秋学期では有意に増加した ($P=0.004$, $P=0.003$)。
- 3) 社会的活動障害は軽度以上，中等度を示した割合は秋学期では有意に低下した ($P=0.000$, $P=0.025$)。

【結論】 新入生の精神健康状態が春学期の入学時に比べて秋学期では改善したと考えられた。新型コロナウイルス感染症 (coronavirus disease 2019, COVID-19) の感染状況，日々明らかになる COVID-19の情報を正しく，随時，啓発することにより，個人個人が納得して，自分の行動を自らコントロールするように努め，それにより COVID-19への不要な恐怖を払拭させることなどが，コロナ禍における学生対応に重要であると思われた。

Kohkichi HATA et al.

1) 島根県立大学看護栄養学部看護学科

2) 島根県立大学保健管理センター

連絡先：〒693-8550 島根県出雲市西林木町151

島根県立大学 出雲キャンパス

はじめに

島根県立大学では，毎年，新入生に対して入学時に質問紙法日本版 GHQ（General Health